

2024 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
歯科口腔外科学講座
研究責任者： 小林 恒

皆様の試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

口腔内環境とアパシーの関係について

臨床研究名称

研究の目的

認知症高齢者には、物事や自分自身に対してやる気や関心が失われていく、いわゆる"無気力"に陥るケースがあります。この意欲低下はアパシーと呼ばれます。口腔機能と認知機能は有意な相関があることが多く報告されており、口腔機能の賦活化により認知機能低下を予防することが期待されています。口腔機能と認知機能の関連するメカニズムとして咀嚼による刺激が脳皮質に影響する経路と摂食機能障害による栄養状態が影響することが考えられています。近年歯周病菌が脳に直接作用して認知機能障害を悪化させていると報告されていますが、口腔環境とやる気（アパシー）との関連に関する報告はほとんど存在していません。そのため、本研究では口腔内の細菌を含めた口腔内環境とアパシーの関連性を検討することが目的です。

研究実施期間 実施許可日 ~2027 年 3 月 31 日

対象となる方 2024 年度の岩木プロジェクト検診を受診した受診者

利用させていただきたい試料・情報について

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2023-191-2）」において2024年に取得された以下のデータのうち、口腔内環境(歯数、歯周ポケット、咬合支持域、口腔細菌数)、口腔内細菌叢と精神心理的項目（CESD：一般人においてうつ病の発見を目的とした自己評価式の質問検査,SF36：健康関連の生活の質（QOL）を測定するための36項目の質問検査、教育年数、論理的記憶、アパシー、口腔関連QOL(OHIP14：口腔のQOLを調査する14の質問検査))について、標記研究のために利用します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2023-191-2）」で収集し、加工（氏名、

住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与)され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

外部への試料・情報の提供

ありません

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん/その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	歯科口腔外科・小林 恒 0172-39-5127/wako@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205